

事業所名: チャレンジキッズ北千束園

---

令和5年度  
福祉サービス第三者評価  
評価結果報告書

評価機関(機構07-172)  
合同会社 福祉経営情報サービス

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024年 3月 29日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 104-0061

所在地 東京都中央区銀座6-6-1銀座風月堂ビル5階

評価機関名 合同会社福祉経営情報サービス

認証評価機関番号

機構 07 - 172

電話番号 03-5537-7750

代表者氏名 渡邊廣貴



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	川邊明美	福祉	H2001044
	②	赤羽恵	福祉	H1801014
	③	渡邊廣貴	経営	H0403033
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認証保育所A型・B型			
評価対象事業所名称	チャレンジキッズ北千東園			
事業所連絡先	〒	145-0062		
	所在地	東京都大田区北千束2-7-1ヒルトップ洗足1階		
	TEL	03-6451-3951		
事業所代表者氏名	渡邊貴美子			
契約日	2023年 9月 11日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023年 11月 1日			
利用者調査結果報告日	2023年 11月 30日			
自己評価の調査票配付日	2023年 11月 1日			
自己評価結果報告日	2023年 11月 30日			
訪問調査日	2023年 12月 14日			
評価合議日	2024年 1月 24日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事業評価： ・経営層記入事項について、課題として認識している項目については、その課題に対する対応状況等を聞き取り、現状の把握に努めた。 ・訪問調査ではサービス担当者による現場視察を午前中の時間に行い、サービス提供場面を極力把握する事に努めた。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2024年 3月 20日

事業者代表者氏名 千葉県柏市あけぼの四丁目1番3号印

あけぼのビル2階

株式会社 C・B・H

代表取締役 早川和宏



1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)常に新しい挑戦を続け(Challenge)、常識の壁を突き破り(Breakthrough)、最上のおもてなしを追求する(Hospitality) 2)チャレンジキッズが子どもたちの健全な心身を育て、その成長を通じてみんなで感動を共有し、子どもたちの明るい未来を創造する 3)チャレンジキッズが「第二の実家」を実現し、保護者も子どもも、そこで働くスタッフも「共に感じる幸せ」をつくる施設運営を目指す 4)子育て支援事業を通じて子どもたちの成長と保護者の子育てを支援し、地域になくてはならない子育て支援事業を展開していくことで社会貢献する</p>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・努力を惜しまない積極性とホスピタリティを持ち、仕事を通じて自分自身の成長やスキルアップを目指す人</li><li>・現状維持ではなく、常に向上心を持って進化を求め人</li></ul> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・仕事を心から楽しみ、誇りを持つこと</li><li>・保護者やお子様と感動を共有し、笑顔で幸せな空間を創ること</li><li>・常に前進する気持ちを持ち、保育の質の向上に努めること</li></ul>

調査対象	保育園を現在利用している全世帯の保護者を対象に調査を行った。1世帯で複数名の子どもが通園している場合は1回答とした。 子供総数：21 家庭数：21
調査方法	・調査項目：東京都福祉サービス第三者評価の標準様式に準拠。 ・事業所への報告：自由回答については匿名性への配慮を行った上で事業所に報告した。

利用者総数	21
利用者家族総数(世帯)	21
共通評価項目による調査対象者数	21
共通評価項目による調査の有効回答者数	20
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	95.2

**利用者調査全体のコメント**

総合的な感想では「大変満足」が回答の80%、「満足」が20%であり、回答者の全員が「大変満足」「満足」のいずれかを選択している。  
 総合感想の自由記述では、「先生方や部屋の様子、保育園全体がやさしく落ち着いた雰囲気であり、安心して子どもを預けることができます。」「先生方が子どもの気持ちに寄り添った関わりをしてくださっているおかげで、子供の気持ちが落ち着き、望ましい行動につながっていると思う。」などの回答があり、そのほか、「職員が優しい」「見守ってくれる」「アドバイスをしてくれる」など、園の保育や職員の対応に満足感や謝意を示す回答が多く得られている。意見・要望は少なく、保護者参加行事を希望する意見のほか、「強いて言えば」というニュアンスでの意見などが見られている。  
 個別設問の自由回答はあまり多くはないが、問1「園の活動が子どもの発達に役立っているか」、問3「食事・おやつを提供」で、自由回答が比較的多く得られており、すべてが園の取り組みを高く評価する意見であった。  
 なお、以下の項目別コメントにある選択肢の回答率については「無回答・非該当」を除いた数値を参照して掲載している。

**利用者調査結果**

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	20	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由回答では、「家庭ではできない遊びをしてくれている。」「先生方の共感性が高く子供の気持ちが落ち着いている。」等の回答のほか、「保育園に入って本当に良かったと思う。」という回答などがあった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	19	1	0	0
回答者の95%が「はい」を選択している。設問の自由回答では、「子供が健全な毎日を過ごす目的では十分な活動内容だが、ほかに特別なカリキュラムがあるとさらに良い」という旨の回答があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	19	0	0	1
回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由回答では、「アレルギー対応食や栄養バランスの良い食事が提供され、毎食の献立がおいしそうであり、子どもの状況と家庭での様子を確認して離乳食を進めてくれて、安心している」という旨の回答や、園の食事を称賛する回答、お替りも出来る事、子ども個々への細やかな配慮がある事を伝える回答があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	18	1	1	0
回答者の90%が「はい」を選択している。自由回答では、公園に行くことがお子さんにとって良い経験になっていることを伝える回答のほか、「水遊びがあるとさらに良い」「行事は保護者が参加する行事がないため分かりにくい」という回答があった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	15	0	0	5
回答者全員が「はい」を選択している。この設問では「とても柔軟で、快く受け入れてくれてありがたい」「早めにお迎えに行きたい場合にも対応してくれる」という回答があった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	17	2	0	1
回答者の89%が「はい」を選択している。この設問では玄関前が交通量の多い通りであることから「少し危険も感じなくもないが、他は特に気になる点はない」という旨の回答があった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	7	2	0	11
回答者の78%が「はい」を選択している。この設問では「ハロウィンで衣装をつくって仮想する点が好印象」という回答や、「保護者参加の行事がないのがありがたいと思う反面、寂しいとも思う」という旨の回答があった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	19	1	0	0
回答者の95%が「はい」を選択している。この設問では「かなり親身になってくれます。」「毎日連絡帳でも詳しく活動や様子を教えて頂いています。」「どの先生もゆったりと子どもと向き合ってくれ、フィードバックも十分なので園の様子が良く分かります。」「園長先生や担任の先生、また送り迎え時の先生方、いつでも快くお話をしてくれます。」という回答があった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	20	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問では職員が玩具の消毒などを行っていることを伝える回答があった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	20	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問では「電話対応もとても丁寧なされている」という内容の回答があった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	19	0	0	1
回答者全員が「はい」を選択している。この設問では「とても丁寧に対応してくれます。」「体調変化を素早く捉えて、すぐに連絡をしてくれるため、非常に信頼しています。」という回答があった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	10	1	0	9
回答者の91%が「はい」を選択している。この設問ではお子さんから聞いた内容を伝える回答があった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	20	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由回答欄に意見はなかった。なお、総合感想欄には、職員の対応に関して信頼や安心を伝える回答が多数見られた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	15	0	0	5
回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由回答欄に意見はなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	20	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。この設問では「毎日の日誌がとても詳しく様子がよくわかる様に書かれていて感心する。」「送迎時や連絡帳で丁寧にお話をしてくれる」という回答があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	18	0	0	2
回答者全員が「はい」を選択している。この設問の自由回答欄に意見はなかった。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	11	0	3	6
回答者の79%が「はい」を選択している。この設問の自由回答欄に意見はなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	○非該当	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
	○非該当	
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	
	評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	○非該当	
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
	○非該当	
	カテゴリ1の講評	
	理念やビジョン等を浸透させ、行動の判断基準となるよう認識の共有を図っている 年1回、3月に全社員が参加するキックオフを開催し、次年度の体制や理念・ビジョン・目標を共有している。園内には職員の目に留まる場所に、スローガン・ミッション・園目標を掲示し、毎週もしくは隔週の頻度で実施される職員ミーティングで、毎回、議事録に印字された理念を読み合わせ、共有して理念の浸透が図られている。また、今年度からは、園の課題や問題をミーティングで提起し、理念に沿った解決法や行動を話し合っている。職員が挙げる議題について、判断に迷う時は理念やビジョンに基づき判断し、職員間での認識の共有が図られている。 「子どもの視点で個々の成長・発達を捉えること」を職員個々に伝え、浸透している 保育における判断基準について、園では「大人の視点で見ない」ということを職員に伝えている。「子どもの視点で個々の成長・発達を捉えること」を絶対的な価値観として、職員の理解度により個々に伝えて浸透させており、恒常的な取り組みにより、理念や行動基準が園内に浸透している。園長は理念の浸透や人材育成を重要な責務として業務にあたり、現場は主に主任が統括している。主任は現場の意見を尊重し、話し合うことを大切に、現場の課題を園長に繋いでおり、保育環境の充実など目標達成に向けた組織的な取り組みが実践されている。 園内の意思決定に職員が参画し、現場主体の職場環境づくりがされている 朝のミーティングやクラスミーティングのほか、空いた時間を活用し、まずは職員間で話し合い、メリットやデメリットの検討を行った後にその内容が園長に伝えられ、最終的な意思決定がされている。経営層からの一方的な決定事項を実行するのではなく、職員が課題に取り組み、改善や解決策を提案できる現場主体の職場環境を目指している。決定事項等などはミーティングのほかメール等で随時、職員間の情報共有をおこなっている。保護者には園内掲示のほか、保育システムの保護者向けアプリで連絡・報告がされている。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>保護者一人ひとりの意向を把握することに積極的に取り組んでいる</p> <p>保護者の意見は定期的に開催し、クラス代表の保護者と本社員、園長、主任、各クラス担任が出席する運営委員会においてクラス代表から意見をj得ている。また、例えば食事について等、園から何かを確認したいときには保護者アンケートを実施して意向の把握に努めている。そのほか、個別面談の機会に保護者の意向を確認している。園では個々の保護者が伝えたい事や相談したいことをいつでも話せる環境を大切に考えており、保育参観は常時可能であることや、わからないことはいつでも確認し、また、相談もできることを保護者に伝えている。</p> <p>地域会議への参加や法人内会議などから地域や保育に関する情報が得られている</p> <p>区が主催する地域会議に参加して意見交換をしている。また、毎月、区の連携推進担当園の担当職員が来訪し、保育の現場に入ってアドバイスを得ており、それらの機会に地域福祉や保育に関する情報が得られている。法人では法人が運営する各園の園長と調理職員による給食ミーティングのほか、今年度からは区内3園の主任が参加するリーダー会が開始され、各園の状況を共有している。園の課題は、毎月の法人園長ミーティング、保育に関するミーティングで他園との共通課題を認識した後に職員の意見も踏まえて抽出し、毎年の目標を年度当初に決定している。</p> <p>保育事業の中長期計画を策定し、環境変化を捉えて園運営をしている</p> <p>保育事業の中長期経営計画が策定されている。外部環境の変化を捉え、基本方針を定めて中長期のビジョンと達成に向けた課題を抽出して計画を策定し、機能別に具体的な実施事項を明示して、中長期計画に沿った園運営がされている。また、単年度の事業計画は中長期計画の内容も加味して作成している。園としては毎年度の目標を設定し、進捗状況を半期程度のスパンで園長が確認している。今後は中長期の実行計画を作成する予定もあるため、それを単年度に展開して実行力を高めていくことを期待したい。</p>		

3 経営における社会的責任			2/2
サブカテゴリ1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリ2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリ3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一人としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当

カテゴリ-3の講評

**社内研修を職員が受講し、園内でも周知をして行動規範や倫理観などの意識を高めている**

ハラスメントに関する社内研修は毎年、常勤職員、非常勤職員の全員が参加して開催されている。そのほか、SNSマナー研修など社内での研修や各種社外研修を職員が受講している。コンプライアンスについては法人がハンドブックを作成・配布しており、園内では職員に目を通すよう周知をするとともに、園内ミーティングにおいて研修の機会を持っている。また、不適切保育については今年度は時間を取り、何度かに分けてクイズ形式を取り入れて実施する等、工夫して理解を深めることに取り組んでいる。

**運営委員会や日常の会話などから保護者の意見や要望を聞き取っている**

苦情解決制度については外部委員の連絡先や、区内において利用者が直接利用できるオンブズマン制度について園内の掲示等で利用者に周知している。また、園内に「目安箱」を設置し、保護者から意見を伝えられるようにしているが、保護者の意見や要望は日常の会話から聞き取ることが多く、送迎時の会話を大切に考えている。運営委員会を年2回開催しており、園の取り組みを周知して透明性を確保するとともに、その場で得られた意見については議事録に追記して回答している。

**虐待防止についてはチェックリストや勉強会を実施し、予防体制の整備を進めている**

今年度は虐待防止ガイドラインについて職員への理解と浸透策を実施し、職員同士で議論する場を持ったほか、虐待チェックリストを実施し、必要に応じて個別のフィードバックをしており、次年度以降も継続して実施する予定がある。虐待発見時の対応については、疑わしい事例があったときに迅速に対応できるよう、フローチャートを作成して園内に掲示している。地域との連携では、認証園の施設長会などに参加しているほか、地区内の連携推進を担当する保育園による助言などがされている。今後は療育施設との連携を高めていくことも検討している。

4 カテゴリー4		
リスクマネジメント		
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
<p>防災や防犯については訓練の実施等により備えを強化している</p> <p>避難訓練は地震と火災を想定し、引き渡し訓練や広域避難場所への避難等を毎月の訓練の中で実施している。また、各クラスに配備している携帯電話のGPSを利用した訓練なども今年度は実施している。そのほか、台風・水害についても訓練を実施している。また、年に1度は消防署の来訪を受けて初期消火訓練を実施しており、その際には防災に関するアドバイスを消防署員から得ている。防犯については、前年度は警察署の立ち合いのもとで不審者訓練を実施し、今年度は経営層が警察署に出向き不審者対応についてアドバイスをもらい備えを強化している。</p> <p>ヒヤリハットの分析や事例検討を実施し、園内のリスクを低減することに取り組んでいる</p> <p>ヒヤリハットの集中に力を入れており、各クラスで多くのヒヤリハットを收拾している。收拾したヒヤリハットについては毎月カテゴリ分けして集計し、月別、時間帯別で発生した状況を分析している。</p> <p>各種トラブル発生時のフローチャートが作成されている。また、園で起きたヒヤリハットやニュースになる事件・事故などから園のリスクについて話し合い、必要な改善策を検討している。事例毎に対応策を話し合い、改善案を検討して実施し事故防止を徹底しており、例えば、りんごの誤嚥事故であれば、事例をもとに提供方法を工夫して提供できるようにした。</p> <p>情報の保護と共有に配慮し、個人情報についてはアクセスを限定して保護している</p> <p>書類は整理され情報を閲覧しやすいよう管理されている。電子データについては利用のルールを定め、ネットワークの利用と権限設定などのフォルダ管理で情報の保護と共有に配慮している。グループ園等との情報共有についてはグループウェアを活用している。個人情報の保護については法人で策定している規程に則っており、閲覧できる階層を限定して保護に努めている。また、職員向けのガイドラインが作成されており、入社時には秘密保持等、情報漏えいに関する誓約書を得て、間違いがないよう運用している。</p>		

カテゴリ5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-5の講評

**人事考課を実施し、面談にて職員個々の仕事に関するアドバイスがされている**

キャリアパスを2021年度に策定して運用している。キャリアパスに基づき人事考課を実施しており、職員個々は評価シート(目標管理・人事評価表)を用いて定期的に目標設定と仕事の振り返りを行っている。また、人事面談は中間、年度末、目標設定時の3回の実施であるが、そのほかに、不定期の面談を1、2か月に一度程度、頻繁に実施して仕事の習熟度を個別に評価し、仕事に関するアドバイスがされている。また、役職者についてはマネジメントの姿勢なども伝え、一般職員については必要な知識を伝えたり、現場の悩みを聞いて相談対応などを行っている。

**外部研修や社内研修・園内研修により、職員個々のスキルアップが図られている**

年度当初に実施する目標設定時の面談では、施設長と職員が個別の課題を話し合い、当年度の目標を設定している。研修については、区の研修や関係団体主催の研修に職員が参加しており、キャリアアップ研修を優先し、同研修を中心に実施予定表を作成して計画的に実施されている。また、社内研修は月1度程度実施しており、安全管理や不審者対応、虐待防止、SIDS等のほか、ハンガリー保育に関する研修が実施されている。ハンガリー保育では、専門家による視察や他園の視察等から環境や動線の作り方などを職員が学び、保育の改善に取り組んでいる。

**職員が意見交換をして園の課題解決や目標達成に取り組んでいる**

毎週実施している園ミーティングでは職員が互いに意見交換できるよう配慮し、また、各種ミーティングで課題の解決や園の目標達成に向けた検討を行い、組織の目標達成に取り組んでいる。就業環境では育児期間中の時短勤務、半日単位の有給休暇付与等、休暇を取りやすい環境づくりをしている。勤務シフトについては2か月前から調整しているが、上手に調整できる環境づくりが課題となっている。メンタルヘルスではストレスチェックを全職員が実施しており、産業医の面談なども可能である。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

社会的に不適切保育が問題となっていることを踏まえ、子どもへの接し方では「否定しないこと」、保育の原点に返ることを目的として、「否定語を生まない心と環境づくり」を目標とした。  
 取り組みとしては、職員が働きやすい環境をつくり、その環境から生じる言葉を大切にすることにした。また、長年実施しているハンガリー保育を立て直すことにした。  
 ハンガリー保育については職員も保護者もハンガリー保育を理解し、同じ方向を向けるよう、WEBページを改定し、そこにハンガリー保育について詳しく掲載した。また、ハンガリー保育の実践については本国の専門家に来日してもらいアドバイスを求めた。  
 結果として改定したWEBページについては内外の反響が大きく入園や採用につながり、成果があった。一方でハンガリー保育の立て直しについては、学びが足りなかったことが分かり、環境の改善点が見つかった。課題については年度当初のキックオフで周知し、今年度の目標につなげている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

「否定語を生まない心と環境づくり」の環境面では「ハンガリー保育の立て直し」として、ハンガリー保育を学びなおしている。以前はハンガリーに研修に行っていたが、コロナ禍の中で、令和5年3月にハンガリーから専門家に来日してもらい、来園してもらって指導を受けており、環境面について学び、今年度は環境構成に必要な備品や動線の作り方などを検討し大きく環境を変えている。令和6年の1月と3月にも再び園してもらおう予定があり、これが現場職員の大きな刺激になっている。  
 環境の見直しにあたり、現状の把握と課題の抽出、改善活動と検証がされており、PDCAを回して目標達成に取り組んでいる。

<p><b>評価項目2</b> 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>時間に追われると保育を楽しめなくなるため、「保育者も子どもともに楽しむ保育園」を目標として、子どもが一人で遊べるような環境を整えるよう進めていった。その結果、保育の余裕も生じたが、改善を進める中で保育士の関わりや声かけといったソフト面だけでなく、ハードの環境面も大切であることが分かった。そのため、今年度はハード面の整備に注力することとした。好きなコーナーに行って自ら遊べるよう、必要な棚などの備品を整備し、動線も一日の流れの中で変える等、保育室の環境を整えた。色分けしたさまざまなコーナーや体を動かせる玩具等を準備することで子どもが自然に遊べるようになった。</p>	
<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>「子どもが自ら遊べる環境づくり、子どもの力で自己完結できる環境づくり」が目的であり、そのために前年度から環境整備を進めている。保育者が「待つ保育」を実践するためにも環境づくりが大切ということであり、前年度の振り返りからハード面の環境整備が今年度実施されている。視察時のコーナー設定では、色を分けた各コーナーをつくって遊びのつながりがある空間づくりがされており、電車の隣にブロック遊びなどの構成遊びができる環境がある等、取り組みの成果が見られた。</p>	

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	○非該当	
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	○非該当	
	●あり ○なし	5. 事業所のサービス利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、他の相談先紹介など支援の必要に応じた対応をしている
	○非該当	
	サブカテゴリ1の講評	
	<p>ウェブページにはチャレンジキッズの保育について大変丁寧な情報公開がされている</p> <p>ウェブページをリニューアルし、『『やってみよう』のこころを育む』チャレンジキッズの方針やチャレンジキッズプログラムなどを余す所なく記載し発信している。保育の特色として、家庭的な保育、流れる保育(ハンガリー式乳児保育)、遊び=学び「課業」の取り組み(ハンガリー式幼児保育)などが説明されており、入園を希望する保護者の選択の参考になる情報が提供されている。また、ブログやSNSも活用して園の情報を公開しており、毎日の活動の様子や給食を写真でアップしたり、レシピもアップして広く情報を提供している。</p> <p>見学希望者、入園希望者向けの案内が丁寧に実施されている</p> <p>チャレンジキッズのウェブページ内に入園希望者向けのページを設け、入園までの流れを案内している。ページ内に入園希望者向けのメッセージを掲載し、問い合わせ用のフォームを用意する等、丁寧な案内がされている。入園に関する電話での問い合わせには丁寧に応対し、園見学の日程調整なども見学希望者の都合に合わせて柔軟に対応している。そのほか、園の情報は区に提供され、定員の情報などは区のウェブページで確認ができる。</p> <p>見学案内時は保護者のニーズに沿って必要な情報を伝えることに留意している</p> <p>見学は予約制で個別に対応している。案内時は保護者が保育園を選ぶ際に判断がしやすいように園の情報を伝えており、ハンガリー式保育など園独自の取り組みや他園との違い、プログラムなど園の保育の特長を伝えている。保護者のライフスタイルもさまざまであるため、説明時は家庭毎のニーズに沿って必要な情報をわかりやすく伝えることに留意している。また、第2子無償化や「こども誰でも通園制度」など、子育て支援に関する行政施策の情報も提供している。</p>	

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園前の面接では丁寧に聞き取り、家庭と子どもの状況を極力把握できるようにしている</p> <p>入園の内定後に保護者が記入する書類の配布などの手続きが開始され、その後、個別に面談日を設定して面談を実施している。入園時には園のしおりや契約内容、重要事項の説明のほか、個人情報の利用に関する事や、園で保護者が撮影した子どもの写真の扱いなどについて書面による同意を得ている。家庭の状況は園で作成している家庭状況調査票の書式に沿って記録され、面談時には記載されている詳細な記録を参考にして生活面や心配なこと、保護者の意向などを中心に聞き取り、保育の開始前に家庭と子どもの状況がある程度把握できるようにしている。</p> <p>保護者個々の不安を解消し、子どもが安心して園生活を始められるよう配慮している</p> <p>登園当初は慣らし保育を実施している。慣らし保育は時間を十分にとって実施しており、20日程度の時間をかけてゆっくりと環境や人に慣れていけるようにしている。スキンシップを取り、他の子どもとの仲立ちなどをして子どもが安心できるようにしており、また保護者には慣らし中の保育の様子を実際に見てもらい不安を解消してもらっている。睡眠の状況など保護者が不安に思う点については様子を丁寧に伝えることで信頼関係を構築し安心してもらえるようにしており、慣らし保育は子どもの慣れ具合により予定より早く終了することも多い。</p> <p>連絡ツールを継続利用してもらっており、卒園児家庭とのつながりを維持している</p> <p>転園の相談については保護者からの相談があれば応じており、要望があれば転園先の情報なども提供している。園としては卒園までハンガリー式保育を積み上げてきているため、自信をもって卒園させることができている。卒園後はハンガリー保育を実施している園を選ぶ保護者も多いとのことである。</p> <p>保護者が在園時に利用していたアプリを卒園後も継続して利用できるようにしている。また、在園児の連絡帳などの情報を保護者が保存できるようにもなる。卒園後も何かあれば気軽に来園するよう伝えており、実際に来園する家庭もある。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	13/13
3 個別状況に応じた計画策定・記録			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
<p>子ども個々の発達に合わせて、一人ひとりの個別指導計画を丁寧に作成している</p> <p>子ども個々の状況は家庭状況調査票や児童票、発達支援記録に記録している。また、日々の子どもの姿は個別日誌に記録し把握している。発達支援記録は例えば0歳児は月に1回は記録しており、週に1回は確認して子ども個々の発達の段階を把握している。これらの情報も参考にして、0歳児から2歳児まで子ども個々の月間、週間などの指導計画が作成されており、週案では生活や遊びについて、子ども一人ひとりの発達に合わせたねらいを立てて実行されている。実施後には振り返りを行い、一人ひとりに対する丁寧な支援が実施されている。</p> <p>環境づくりの視点を大切に各指導計画を作成し、計画期毎に見直しをしている</p> <p>クラス毎に年間指導計画、月案、週案、日案の各保育指導計画を作成している。担当者を決めて日々話し合い、園長と主任も加わり作成されており、計画の評価や支援の振り返りは各クラスで行い、園長は全体のアドバイスをこなっている。クラス毎の計画では特に環境づくりの視点を大切に計画全般に関する必要なアドバイスがされており、各計画の向上が図られている。計画の振り返りについては、年間指導計画は四半期毎に全体ミーティングで話し合い見直しをおこなって次期の計画に反映しており、他の計画も計画期毎に評価・反省を実施している。</p> <p>子どもの状況を記録し、ミーティングで話し合っって個々の関わり方等を共有している</p> <p>子ども個々の毎日の様子は個別日誌のほか、家庭連絡帳に記録している。連絡帳は保護者向けのアプリを用いて各家庭に配信し連絡を取り合っており、保護者から聞き取った子どもの情報や家庭の状況などは送迎者名簿の備考欄に記録して職員間で共有している。出勤者が全員参加し毎週開催される園ミーティングでは、個々の子どもについて、噛みつき、友達とのやりとりなど気になることをピックアップして議題にしており、話し合い関わり方を共有している。会議に出席しなかった職員には議事録を回覧して内容を共有している。</p>			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>園内での生活や写真の扱い等、プライバシー保護を徹底している</p> <p>プライバシー保護については利用契約書に明記し、入園時に口頭と書面で説明して同意署名を得ている。また、インターネットでの掲載や写真販売を行うにあたり掲載の同意確認を保護者から得ているほか、購入した写真の取り扱いに関する誓約を保護者から得てプライバシー保護に留意している。保育の現場では、例えば、0歳児のおむつ交換は専用台を用い保育者と1対1の空間で行えるような環境がある。歩行のできる子どものおむつ交換は個別に個室のトイレで行なっている。</p> <p>否定語を使わない事、子どもの視点で発達を捉える事を基本事項として浸透させている</p> <p>子どもの想いを受容的に受け止め伸び伸びと生活できるように留意している。園内では否定語を使わない事を職員間で共有し、子どもの視点で個々の成長・発達を捉えることに留意して、子どもの主体性を大切に保育をしている。また、子どもが自ら遊べる環境づくりをして、自分のことは自分で行なえるよう環境を整えている。</p> <p>保護者の価値観については尊重し、基本的には保護者の希望や要望を優先している。保護者と園での考え方に相違があったときには園の環境等も説明し理解を得られるように努めている。</p> <p>虐待や不適切保育についての理解を深めることに取り組んでいる</p> <p>虐待防止ガイドラインの理解を深めることに取り組み、次年度以降も継続して実施する予定がある。また、不適切保育については、今年度は時間を取り、理解を深めるためにクイズ形式を取り入れて学ぶ等、虐待や不適切保育について職員が理解し、それを深めることに取り組んでいる。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		<b>評点(〇〇〇)</b>	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		<b>評点(〇〇)</b>	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
<b>サブカテゴリ-6の講評</b>			
<b>業務の基本事項をマニュアル化し、適切な保育や迅速な行動が出来るよう共有している</b> 保育業務マニュアルを作成し、基本業務について明確にしている。また、「ハンガリー保育」を手本にした子どもへの関わり方の手引き等が用意され活用されている。業務手順のうち迅速な対応が必要になるアレルギー対応や痙攣、ケガ対応、虐待通報、地震、苦情などは処理フローをわかりやすく掲示して、いざという時にすぐに行動できるようにしている。マニュアルは入職時に新人職員に配布して目を通してもらっており、また、社内研修において活用されて内容が共有されている。			
<b>職員個々の仕事の習熟や業務の標準化にマニュアルを活用している</b> 新人等にはマニュアルを読んで自分で考えるよう促しており、対応に迷うときはマニュアルに基づき、園長から説明をしている。職員が、マニュアルの内容について、解釈にずれがないよう確認をする姿もしばしば見られるとのことであった。マニュアルの確認が必要な場合は職員を集め、読み合わせて内容を確認し、実践とマニュアルとの差異がないよう注意を払っている。業務のマニュアル化やマニュアルの見直し・更新については、必要に応じて随時実施しており、今年度は4月に安全計画が作成され運用が開始されている。			
<b>職員の提案を尊重して業務改善や保育環境の向上に取り組んでいる</b> 職員の積極的な改善提案を奨励しており、職員からの意見に基づく改善が実施されている。例えば、保育環境について、目指す環境の構築に必要な備品などは職員のアイデアを尊重して準備し、環境づくりをしてもらっている。職員一人ひとりの考え方を尊重し仕事してもらっており、スキルの向上や仕事のやり甲斐につながるよう取り組んでいる。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	36/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携を図っている	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもの発達に合わせ、子ども自らが行動できるような環境をつくっている</p> <p>園の理念である「やってみよう(チャレンジ)の心を育てる」保育を日頃から意識して実践している。特に環境については子どもが「やってみよう」と思い、実践できる環境を整えている。ハンガリー式保育に沿って、例えば、着替えでは子どもが腰かける椅子を出しておき、一人で腰かけ着替えが行いやすいような環境にしている。自ら行動するまでには時間がかかるが、「自分で」という意思を尊重し、経験して自分で取り組める環境をつくっている。</p> <p>異年齢で過ごす中で、小さい子どもへの優しい気持ちが育まれている</p> <p>朝夕は合同保育を行なっている。また、1、2歳児クラス合同での自由遊び等を実施している。異年齢保育では同じ場所で過ごす中で異年齢の子ども達が互いに興味を持ち、その関係性の中で時に保育者が仲立ちや代弁をすることで、年齢の大きな子どもは小さな子どものお世話が好きになったり、お世話してもらった子どもも嬉しく思ったり、憧れを持つ姿が見られる。この連鎖が生まれ、例えば、トイレトレーニングなどの生活習慣の獲得や情緒面での効果も生じている。</p> <p>配慮が必要な子どもの支援では受容的に個々に関わり、生活の中で気持ちを育んでいる</p> <p>特別な配慮が必要な子どもについては、例えば、その子どもが他児に興味を示したり他児がその子どもに興味を示した時には、互いの触れ合いを見守り、それを発展させて触れ合い遊びを存分に楽しめるように仲立ちをして他の子どもに対する安心感や信頼感を育めるようにするなど、個々に応じた計画を立て丁寧に支援をしている。子ども同士のトラブルがあっても受容的に個々に関わり、上手く共存できるような関わりを子どもにも伝えるとともに、子ども同士がスキンシップを取るなどの経験を重ねることで、他者への接し方や力加減ができるよう関わっている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>保育アプリを活用して家庭との情報共有を行い、日々個々の保護者と十分会話をしている</p> <p>登園時には事前に連絡アプリで子どもの様子や登園予定などの情報を確認したうえで、視診と保護者への聞き取り、検温をしている。アプリにより発熱の有無や体調、睡眠や機嫌など、登園時に確認する情報が事前に得られており、また、日中の個々の姿はアプリを通じて保護者に詳しく伝えているなど、ICTが有効に活用されている。降園時には担任が対応することが多く、保護者一人ひとりと会話をしている。保護者も担任も多くの会話をし、子どものその日の様子や出来事など伝えあっており、今回の利用者調査でも「充分できている」旨の回答が多い。</p> <p>生活習慣の支援では、家庭と連携を密にとり、発達に応じた援助を丁寧に実施している</p> <p>着脱は椅子に腰かけ保育者と対面になり、その子どもの発達に応じた必要な援助を丁寧に実施している。トイレトレーニングは家庭主導で進めてもらい、開始の目安や進度、排泄の間隔やタイミングなど、家庭と連絡を密に取り情報共有をして進めている。また、沐浴を実施した際には「きれいになったね」などの声かけをして清潔の気持ち良さが感じられるようにしている。食具については2歳児までの保育園の為、しっかり食具を使うことを子どもに伝えている。生活習慣の大切さを保護者に話す時には、大切である理由などを伝え理解を深めてもらっている。</p> <p>休息の支援は子ども個々の状況や発達に合わせて実施している</p> <p>0歳児は日常の生活の中でいつでもゴロンと横になれる環境を用意している。個々の生活リズムに合わせており、泣いている子どもは抱っこをして安心してもらってから遊ばせたり、眠い子は眠ってもらっている。2歳児で眠たくない子どもは無理に寝かせないが体を休めることが目的であるため、静かな活動してもらっている。午睡時のSIDSチェックについては注意事項を各クラスに伝えて予防できる環境づくりをしたうえで、年齢毎に定められた時間間隔で確認をしている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが人と関わる力を養えるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 子どもの心身の発達が促されるよう、戸外・園外活動(外気浴を含む)を実施している	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもが自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>自分のやりたい遊びが行えるよう環境を整え、自分の想いを表現できるよう援助している</p> <p>コーナーづくりでは、カーペットで色分けをして、視覚的に子どもが各コーナーを意識し何をやる場所なのかがわかりやすいようにした。また、各コーナーに棚を設置して玩具を置き、玩具をしまう棚には写真を貼り、どこに何をしまうのかを子どもに分かりやすくした。子どもが自ら選べるように環境づくりをしており、コーナーの横には関連した玩具を置くなど、遊びの発展をイメージした工夫がされている。遊びでは、大人が入るのではなく、子どもが一人で遊びを展開できるように、保育者は種をまいておくことを大切に考えてそのように実施している。</p> <p>応答的なやり取りを丁寧にこない、また、さまざまな感触遊びを取り入れている</p> <p>在園児は2歳児までの子どもなので、友達と遊ぶというより並行遊びが多いが、様子を見ながら保育者が友達と関わる仲立ちをしている。また、発達に応じ、一緒に歌を歌ったり、子どもの身振りや表情などから気持ちを読み取り、きれいな言葉を用いて丁寧に伝え、応答的なやり取りを丁寧にこなすようにしている。表現活動では課業の中で、シフォンスカーフを使って形を変化させたり、夏は色寒天や氷遊びなど、五感を刺激する感触遊びを取り入れている。</p> <p>天気の良い日は公園に出かけ、見立て遊びや季節を感じる遊びをおこなっている</p> <p>戸外に出られる日には毎日散歩に出かけている。公園では対象年齢未満の為に乗れない遊具も多いが、動物の形の乗り物には餌をあげる見立て遊びに転化させるなどの工夫をして楽しんでいる。また、木の実、落ち葉などで見立て遊びをしたり、夏の季節は室内でたらいに水を張って水に触れて遊ぶなど、季節ごとの遊びを楽しんでいる。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p><b>行事は日常の中の一部として位置づけ、乳児も楽しめる行事を実施している</b>  セタやお月見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、正月遊び等、季節や日本の伝統行事を取り入れた行事を実施している。その季節や時期に合わせて絵本の読み聞かせをおこなったり、室内の装飾をしたり、子どもと製作物を作ったりと無理せず日常生活の一部として楽しめるようにしている。例えば、クリスマスの装飾は子どもとの会話やクラス内の流行などに合わせて各クラスでそれぞれ趣向を凝らしており、どんな行事でも年間を通してみんなで一緒に楽しむことを大切にしている。</p> <p><b>子どもの興味を汲み取り、子どもからの発信を大切に装飾や行事の企画をしている</b>  夏祭りは2日間にわたって実施し、お店屋さんごっこをおこなった。内容は子どもと一緒に企画をした。視察時はクリスマス前の時期であり、2歳児はクリスマス、1歳児は天気、0歳児はサファリパークなどそれぞれのクラスでテーマを考え部屋の装飾が行われていた。子どもとの会話の中で子どもが興味を持っていそうなことを取り上げて装飾をおこなったとのことであり、子どもからの発信を大切にしている。また、クリスマスではサンタが来てくれるなど、子どもが楽しめる企画を実施している。</p> <p><b>保護者には行事の様子を伝え、子どもが楽しめるよう後押しをすることを依頼している</b>  行事の様子は保護者が見ることができるようブログに掲載している。また月に1回写真販売を実施しているため、写真からも行事の様子を知ることができる。行事の様子は降園時にも口頭で伝えている。例えばハロウィンであれば、その日の様子を保護者に伝え、「家庭でもハロウィンの話をしてくださいね」と、家庭での会話を促し、また、行事前には子どもが興味を高められるよう保護者も子どもの背中を押すことを伝える等、子どもが行事を楽しめるよう依頼している。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p><b>子ども一人ひとりが安心し、ゆったりと落ち着いて過ごせる環境づくりをしている</b>  延長保育はスポット利用と月極の利用ができる。月極の利用は調査時点ではあまり多くはなく、時々スポットの利用がある。延長保育時は、0歳児の場合、18時以降は疲れなどから情緒が崩れやすいため、子ども一人ひとりの様子を見極め、ゆったり過ごせるスペースの確保やスキンシップをとり、声かけなどでフォローをして安心して過ごせるようにしている。</p> <p><b>職員皆が子どもとの信頼関係をつくり、子どもが安心して過ごせるようにしている</b>  職員は常時2名体制にしている。1. 2歳児であれば延長時に机上遊びもするが、0歳児の場合は休息したり、落ち着ける環境づくりをして、子どもが安心して過ごせるようにしている。また、日中の保育は担当制で実施しているが、担当者以外の保育者も合同保育の時間に子どもと充分関わり、職員皆が子どもとの信頼関係を作れるようにしており、子どもがどの職員のことも信頼し、安心して過ごせる環境にしている。</p> <p><b>補食はその日の夕方までに希望があれば対応して提供している</b>  補食は調査時は対象者がおらず提供されていなかったが、希望があれば提供している。保護者から当日の夕方までに希望があったときには給食室で作った補食(おにぎり)を提供している。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動、保護者や地域の多様な関係者との連携等)を行っている	○非該当	
評価項目6の講評			
<p><b>子どもが食べることの楽しさを感じられることを主眼として食事の環境づくりをしている</b></p> <p>食事では完食を目指すのではなく、食べる事が楽しいと感じることを目標にしている。1対1、2対1の少人数で安心して食べられるような環境をつくり、食事を楽しむ経験ができるようにしている。例えば1歳児クラスでは、食事は時間差で行い、待っている子どもは遊びのスペースで保育者と待機する。食事時は自分で食べやすいように取り皿に取り分け、食事が進まない子どもには、「おいそうなかぼちゃだね」など声がけをして、食事を盛ったスプーンを子どもに手渡したりと援助をしており、その子どものペースと食事を考慮して食事を進めている。</p> <p><b>アレルギー対応食を提供する中で、よりよい食材を検討し、新メニューの開発もしている</b></p> <p>食材にこだわり、米や野菜は複数の契約農家から取り寄せている。良い食材があるという情報を得ると視察に行き、品質を吟味して仕入れ先を変えることもしている。献立は毎月栄養士が新メニューを考案し取り入れている。食物アレルギーのある子どもに配慮し、三大アレルギー(卵、乳、小麦)を省いた給食を提供している。月に1回の給食ミーティングで話し合い、卵、乳、小麦を除いたレシピ開発に力を入れている。宗教食については、これまで対応していなかったが、「多様性」の視点で受け入れる方向で検討している。</p> <p><b>野菜の栽培をして収穫したり、食材に触れる等の食育を実施している</b></p> <p>大きな幹線道路沿いの園なのでプランターなど外での栽培は難しいが、今年度はしいたけの栽培を室内で行い20個収穫できた。しいたけの次はホワイトアスパラガスの栽培を始めている等、室内でできる様々な野菜の栽培に取り組み、子どもたちは自分たちで収穫する体験をしている。調理保育ではトウモロコシの皮むきなども実施している。保護者にはSNSでメニューやレシピを紹介している。</p>			
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもの入退所により環境に変化がある場合には、入所している子どもの不安やストレスが軽減されるよう配慮している	○非該当	
評価項目7の講評			
<p><b>感染症対策や事故防止等について子どもが意識できるよう援助している</b></p> <p>子ども本人の健康維持につながるよう、手洗い、うがいの声かけや危険防止についての呼びかけをおこなっている。散歩時は簡単な交通ルールや手を必ずつなぐ、白い線の内側を歩くなどを繰り返し伝えて子どもたちが意識できるようにしている。虫歯予防デーでは、行事としてペープサートなどで歯磨きの大切さや歯磨きの仕方などを伝えている。日常の保育の中で怪我につながる危険を感じた時は、午睡時、散歩時等の生活の場面毎に分類された定型のヒヤリハット用紙に記入して職員間で共有し、事故予防に取り組んでいる。</p> <p><b>毎日の子どもの健康状態を把握し、囑託医と連携して健康維持のための体制を整えている</b></p> <p>子どもの健康状態については囑託医や囑託歯科医に相談し連携しており、必要に応じて受診を勧めている。また、看護師は在籍していないが、緊急対応などのフローを明確にして個別のフォローができるようにしている。食物アレルギーを持った子どもの対応やエビペン使用、熱性けいれんの対応については、作成されているフローチャートに基づき研修を実施するほか、ミーティングの際に職員間で情報共有をして職員が対応できるようにしている。</p> <p><b>保健に関する情報を保護者に提供し、連携して子どもの健康維持に努めている</b></p> <p>保健に関する情報は毎月区から届く情報を園向けに編集した保健だよりを作成して保護者に配布している。また、感染症が発生した時には玄関に発生状況を掲示して感染症の種類とクラスの状況等を保護者に伝えている。子どもの体調について日頃から細やかに確認し、保護者とこまめに連絡を取り合い、必要に応じて受診を勧める等、保護者との信頼関係をつくり連携して子どもの健康維持に努めている。発熱時の対応などは個々の子どもの平熱を考慮し、保護者との共通理解のもとに個別の対応をしている。</p>			

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>子育てや就労をする保護者のサポートを手厚くおこない、保護者のニーズに応えている</p> <p>「らくらくセット」のサービスは、毎日の荷物を最低限に止め、おむつは園で用意持ち帰りもなく、エプロンやタオル類も園で準備する有料サービスであり、保護者のサポートを手厚くおこなっている。土曜保育では仕事以外の事情でも預かり、また、一時保育も実施している。子育てをしても余裕ができることが大切と考え、保育ニーズがあれば子どもを預かっている。子育ての悩み等については、園長が日々保護者と接する中で保護者の様子の変化に気付くよう心掛け、声掛けをしたり、困ったことがあればアドバイスをしている。</p> <p>子どもの様子を連絡アプリやブログ、SNSで保護者にわかりやすく伝えている</p> <p>子どもの様子を連絡アプリで日常的に細かく保護者に伝えている。連絡アプリ経由での保護者からの相談もあり、相談があった時には当日の降園時に担任や園長が対応することになっている。また、ブログやSNSを更新し日々の子どもの様子を保護者に伝えている。写真販売も月に1度実施し、写真からも園での子どもの様子が伝わるようにしている。保護者同士の交流については、入園初日の慣らし保育時には保護者も登園してもらい、他の保護者と触れ合える機会がある。</p> <p>保護者参観が常時可能であり、参観時に子どもの姿や発達についての認識を共有している</p> <p>保育参観は常時可能であり、保護者の希望に合わせて実施している。参観時は事前にどのようなことが見たいかをヒアリングしておき、活動の様子を見ながら園長から子どもの様子や発達の事などを説明しており、その際に子育ての悩みなども確認している等、保護者にもわかりやすく、子どもの姿も共有しやすいよう工夫がされている。保護者からの相談は日常の会話の中で受けることが多い。そのため、面談は園から特に設定はしていないが保護者から希望があれば対応している。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>児童館、図書館などに行き、子どもたちがさまざまな体験ができるよう取り組んでいる</p> <p>消防署が避難訓練の立ち合いをする時には、子ども達が消防車を触らせてもらったりしている。また、児童館に行き、遊具を使わせてもらい遊ぶなど、いつもと違った環境で遊ぶ体験もしている。そのほか、図書館へは2歳児が行き、図書館で絵本を読む体験をする等、地域に資源を使って子どもたちがいろいろな体験ができるよう取り組んでいる。</p> <p>極力地域の人たちと触れ合う機会を設けている</p> <p>勤労感謝の日には、近隣の床屋さんや近所のおばあちゃんに、カードや表彰状など渡して挨拶をしているなど、地域の人たちと触れ合う機会を設けているが、場所柄交流できる先が少ないのが現状である。近隣の小学校に複合施設ができる予定もあるため、今後はその社会資源を活用していきたいと考えている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	「ハンガリー式流れる保育」を実践し、子どもの主体性や自己肯定感を育てている	
内容①	チャレンジキッズのプログラムは【ハンガリー式流れる保育】【ハンガリー式課業】【外部講師による英会話・体操教室】で構成され、子ども達はこれらの体験を積み重ねながら、園での生活や遊びを通して学びを深めている。0～6歳の乳幼児期は、非認知能力を高めることができる大切な6年間と言われており、また成長が著しく、心も身体も大きく変化するかけがえのない時期であるため、その時期における支援をプログラムとして提供し、子どもの主体性や自己肯定感を育み、多種多様に変化する時代を乗り越えていくための大きな力の獲得を目指している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-1-2	事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している
タイトル②	研修と評価の仕組みを構築し、人材育成に力を入れている	
内容②	一人ひとりのキャリアパスについて園と職員間で共有し、評価シートによる評価と面談を実施して課題を整理し、目標達成に向けた具体的な行動を話し合い達成に向けたフォローをしている。研修は、キャリアアップ研修、本社・社内研修、社外研修を強化し、個々のスキルに合わせ受講してもらっている。また、月1回、法人内各保育園の主任とリーダーが参加する主任会・リーダー会を実施し、管理者に必要な研修や意見交換を行い、園の運営についても学ぶ機会を設けている等、人材育成に力を入れて取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル③	歩くことを重視して、遠くにある公園まで頻繁に出かけて体力づくりをしている	
内容③	活動の中では歩くことを重視しており、天気が悪くなければ近隣の公園に足を運んでいる。散歩マップには7か所の公園が記され、クラス毎に目的別に公園を使い分けている。洗足池やその近辺までは頻繁に出かけており、鯉や犬、鳥等の生き物を見たりしている。洗足池まではかなりの距離があるが、歩いて散歩に出かけ筋力をつけている。また、その結果、子どもの成長曲線がどう変化していくかなども意識して実践している。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	『『やってみよう』の心を育む』園の理念に沿って、子どもが自ら遊べる環境づくりに取り組んでいる
	内容	「子どもの視点で個々の成長・発達を捉えること」を職員に伝え、それが浸透している。また、子どもに対し否定語を使わず、一人ひとりの意欲や想いをくみ取った保育の実践に取り組んでいる。保育の現場では小規模な環境を十分に生かし、職員皆で子ども個々を把握し保育にあたっており、個々のペースに合わせた関わりや援助が実践されている。環境面ではハンガリー式保育の視察を受けて、子どもが自ら行動できるよう人的・物的環境の見直しを行い、コーナーの充実化等、遊び込みその遊びを展開できるような環境を職員が話し合い工夫して作り上げている。
2	タイトル	子どもがおいしい食事を楽しく食べられるよう、品質と安全にこだわった食事を提供している
	内容	米や野菜は品質を吟味し契約農家から仕入れる等、食材にこだわり、また、地域の郷土料理なども、例えば沖縄の郷土料理と芋汁と一緒に提供する等、給食室の努力なしでは提供できない献立が提供されている。アレルギー対応では三大アレルギーを使わない食事を提供し、アレルギーを持つ子どもも同じ食事を摂れるようにしている。おやつもミルクを一切使わず、さまざまなメニューを提供しており、給食ミーティングで話し合い、子ども達が毎回おいしく食べることができるよう毎月レシピ開発をしている。また、そのレシピを保護者にもSNSで公開している。
3	タイトル	仕事と生活の調和(ワークライフバランス)が実現できる職場環境づくりに取り組んでいる
	内容	キャリアパスや評価シートに基づく人事考課、面談や研修受講の体制づくりなど、人材育成の制度を整備し、また、福利厚生面では有給休暇取得率の改善や残業時間ゼロに取り組み、有休消化率は100%を達成している等、充実化を図っている。職員には仕事上の責任を果たす中で仕事のやりがいや充実感を感じてもらい、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が実現できるよう、仕事と生活の両方を充実するワークライフバランスに取り組んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	キャリアパスが策定されており、次のステップとしてキャリアパスに沿った研修体系の整備を勧めたい
	内容	キャリアパスを2021年度に策定している。また、人事評価シートについても保育園の業務に合致する内容に刷新し、職員が本人のキャリアについてビジョンをもって職務を遂行し、スキルアップ、キャリアアップに取り組める体制づくりを進めている。現在実施している各研修をキャリアパスに沿った研修体系として整理し、また、キャリアパスに照らしてキャリアアップに必要な研修を組み入れて整備することで、人材育成の仕組みとしての研修体系となることが見込まれるため、次のステップとしてその取り組みも期待したい。
2	タイトル	保護者のニーズに応え、保護者の負担を極力なくす方針の中で、保護者参加行事については検討課題となる
	内容	今回の利用者調査では保護者の満足度は100%であり、そのうち80%が「大変満足」を選択している等、保護者の満足度が高い園である。保護者への情報提供は、連絡帳や降園時の会話等で十分なコミュニケーションがされており、また、保育参観はいつでも可能で実施時は丁寧に子どもの姿を保護者と共有している等、きめ細やかな対応がされている。今回の利用者調査では「行事への保護者参加機会があるとよい」という意見もあり、保護者の負担を極力なくす方針の中で、どのように保護者の要望に応じていくかは今後も検討事項となると思われる。
3	タイトル	中長期計画を策定しており、主要課題の中長期実行計画は今後作成する予定がある
	内容	保育部門の中長期計画が策定されており、主要課題の中長期実行計画は今後作成の予定となっている。また、園として毎年度目標を設定し、進捗状況を確認して達成に取り組んでいる。今後は中長期の実行計画から年度単位の具体的な行動計画に展開して達成に向けた実行力をさらに高めていくことを期待したい。